

# 『ミスターまちゼミ』 松井氏にインタビューしました

岡崎市では、平成14年度にまちゼミを開始しました。一度まちゼミを経験したら、どんどん輪が広がり、岡崎市では現在5カ所で開催され、商店街に活気が戻ってきました。

いつも話しているのですが、補聴器のお店でゼミを受け、実際に利用する何年か後に「あのとき丁寧に説明してくれた、あの店に行こう」という行動のための種まきがまちゼミです。今結果を求めるのではなく、未来のための取り組みです。

これから高齢化が進み、商店街の重要性はさらに高まるでしょう。そのときに、試されるのが商店同士のつながり。まちゼミは、ノウハウを互いに勉強し、横のつながりを非常に強くするため、地域全体のパワーアップが期待できます。

まちゼミは、まちが元気になる取り組みです。苦小牧市も、たくさんの方が参加することで「価値ある買い物ができる元気なまち」になればと思います。



内閣府地域活性化伝道師、経済産業省タウンプロデューサー、岡崎まちゼミの会代表

まつい よういちろう  
松井 洋一郎氏

## 三方(さんぽう)よし

▶ 江戸から明治にかけて日本各地で活躍した近江(現在の滋賀県)商人の

**買い手よし 売り手よし 世間よし**

という心得のことです。売り手と買い手がお互いに満足し、また、社会貢献もできるのがよい商売という考えです。

**満足度95パーセント**

現在、全国67エリアで開催されています。苦小牧市は昨年度行い、全30講座に190の方が参加しました。アンケートでは、「知りたいことを丁寧に教えてもらえる」「大変わかりやすく、とても楽しい時間だった」など、95パーセントの方が満足したと好評でした。(下グラフ参照)

**三方よしの心**

まちゼミは、買い手よし、売り手よしでもありますが、さらに世間よしを加え、「三方よし」の事業です。江戸時代から明治時代の近江商人の心得で、「商いは自らの利益のみならず、買い手である顧客はもちろん、世の中にとつ

**嬉しいのはお客さんだけではない**

このゼミの良さは、買い手であるお客さんだけにとどまりません。売り手である商店側にとつてもメリットがあります。お店を知ってもらえたり、知識・経験・人柄などを理解してもらえます。お客さんの声を直接聞き、困ったときに、安心・信頼して相談できる店として、店自体の魅力がアップします。

## 10月開催まちゼミ

苦小牧市では、今年10月5日からまちゼミを開催します。前回は北海道初の試みとして試験的に実施しましたが、今後は苦小牧市に定着するイベントに育てます。将来は岡崎市のように、その商店街のファンが増えると同時に、商店同士がつながりの強い、たくましい商店街になることを目指します。

## 前回のまちゼミ

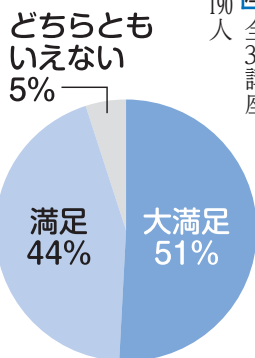
▼消しゴムはんこをつくろう!  
自分用のオリジナルはんこを作りました



▲花育・桃の節句のフラワーアレンジメント  
桃と菜の花で、アレンジメントを楽しみました



▲デジタルカメラあれこれ  
デジタルカメラの基本的撮影方法を学びました



期間 平成25年2月4日(月)~3月20日(水)  
開催講座 全30講座  
受講者 190人  
満足度